

研 究 活 動 報 告

日本語日本文学科

大 槻 修 (教授)

〔著 書〕

- 『堤中納言物語』 岩波書店 (岩波文庫) 2月
 『「狭衣物語」計わぬ恋の行方―河合隼雄対談集』 小学館 3月
 (共著) 河合隼雄編著

〔随 想〕

- 「詩歌と物語・華・書道の雅び」―大覚寺 洛西物語② 月刊『嵯峨』1 (No. 842) 1月
 大覚寺出版部
 「豊かな文化圏の中心に」―大覚寺 洛西物語③ 月刊『嵯峨』2 (No. 843) 2月
 大覚寺出版部
 「菊原初子さんを偲んで」 季刊『上方芸能』143号 3月
 上方芸能出版部
 「心に刻まれた暁の野山」―野宮 洛西物語④ 月刊『嵯峨』3 (No. 844) 3月
 大覚寺出版部

〔講 演〕

- 「源氏物語 明石の入道」 浄土宗大阪教区普通講習会 1月
 於 東洋ホテル
 「虫めづる姫君の面白さ」堤中納言物語 高槻現代劇場 秋の文化サロン 10月
 於 高槻市文化ホール

〔講 座〕

- 「藤壺を思慕する光源氏の日々 (桐壺)」 当道会教養講座① 6月
 於 リバーサイドホテル
 「物語歌集の編纂とその時代」 神戸市民大学講座 7月
 於 兵庫県民会館
 「雨夜の品定め, 理想の婦人像 (帚木)」 当道会教養講座② 9月
 於 リバーサイドホテル
 「過ぎ去りし夢, ただ実らぬ現実 (空蟬)」 当道会教養講座③ 11月
 於 リバーサイドホテル
 「源氏物語を読む」 灘神戸生協文化講座 1月~12月
 於 灘神戸生協文化センター
 「源氏物語を読む」 灘神戸生協中コープ講座 1月~12月
 於 灘神戸生協中コープセンター
 「源氏物語の世界」 朝日カルチャー講座 1月~12月
 於 朝日カルチャー (芦屋)

〔現地セミナー〕

- 「源氏物語の故地をめぐる」宇治・嵯峨野 神戸市民大学講座 5月
 於 宇治・嵯峨野一帯

〔現地セミナー (学外行動学習事業)〕

| | | |
|-----------------------|---------------------------------------|------|
| 石山寺蔵「源氏物語絵」・刺繍について | 古典文学の故地を訪ねて① 於 細見美術館・随心院 | 4 月 |
| 「源氏物語」 「夜の寝覚」 をめぐって | 古典文学の故地を訪ねて② 於 大覚寺・大沢池・広沢池 | 6 月 |
| 伊勢斎宮・松阪 (「源氏物語」) について | 古典文学の故地を訪ねて③ 於 斎宮跡・本居記念館 | 7 月 |
| 「源氏物語」 須磨・明石の故地 | 古典文学の故地を訪ねて④ 於 松風村雨堂・須磨寺・善楽寺・木戸谷 | 7 月 |
| 「源氏物語」 宇治十帖の世界 | 古典文学の故地を訪ねて⑤ 於 比叡山・横川 | 10 月 |
| 「源氏物語」 「平家物語」 ゆかりの地へ | 古典文学の故地を訪ねて⑥ 於 化野・滝口寺・祇王寺・常寂光寺・二尊院 | 12 月 |

大橋 毅彦 (教授)

〔論文〕

| | | |
|------------------------------------|---|------|
| 「戦時下上海における亡命ユダヤ人と日本近代文学との 出合い方」 | 『甲南国文』 第 49 号 甲南女子大学日本語日本文学会 | 3 月 |
| 「犀星的野性の周辺」 | 『犀星の会会報』 第 20 号 犀星の会 | 10 月 |
| 「小田嶽夫『支那人・文化・風景』」 | 『文化人の見た近代アジア 11 支那人・文化・ 風景』 ゆまに書房 | 9 月 |
| 〔口頭発表・講演〕 | | |
| 「プロッホと草野心平の SHANGHAI」 | 戦後中日文化関係回顧国際研討会 於 北京首都師範大学 | 10 月 |
| 「昭和文学の中国・アジア体験」 | 芦屋川カレッジ 於 芦屋市民センター | 11 月 |

片山 享 (教授)

〔著書〕

| | | |
|---|-------|------|
| 『冷泉家時雨亭叢書 第 49 卷「歌合集 百首歌集」』 (共著) 片山享, 坂口和子編著 | 朝日新聞社 | 12 月 |
|---|-------|------|

菊池 真一 (教授)

〔著書〕

| | | |
|----------------|------|-----|
| 『講談研究資料集成』 第二卷 | 和泉書院 | 3 月 |
|----------------|------|-----|

〔論文〕

| | | |
|----------------------|---|------|
| 「読売新聞に見る明治期講談 (その三)」 | 『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』 第 38 号 甲南女子大学 | 3 月 |
| 「物尽し狂歌資料」 | 『近世初期文芸』 第 19 号 近世初期文芸研究会 | 12 月 |
| 「『筑波山恋明書并名所』 翻刻」 | 『近世初期文芸』 第 19 号 近世初期文芸研究会 | 12 月 |

〔評論・エッセイ〕

〔近代デジタルライブラリー批判〕

ACADEMIC RESOURCE GUIDE No. 146

11月

ACADEMIC RESOURCE GUIDE

西田隆政（助教授）

〔論文〕

〔平安和文における「語りのハ」の可能性
－源氏物語の例を中心に－〕

『甲南国文』第49号

3月

甲南女子大学日本語日本文学会

〔源氏物語における「たり」「り」の文末用法－係り結び
の使用頻度と文体差との関連をめぐって－〕『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』
第38号

3月

甲南女子大学

西田直敏（教授）

〔講演〕

〔『平家物語』と日本人－21世紀に読みつぐもの－〕

新・日本学講座

12月

於 ガーデンシティクラブ

細江光（助教授）

〔論文〕

〔上山草人年譜稿（一）－谷崎潤一郎との交友を中心に－〕

『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』
第38号

3月

甲南女子大学

〔上山草人年譜稿（二）－谷崎潤一郎との交友を中心に－〕

『甲南国文』第49号

3月

甲南女子大学日本語日本文学会

〔谷崎潤一郎と小野賢一郎・「草汁」－全集逸文紹介－〕

『甲南国文』第49号

3月

甲南女子大学日本語日本文学会

〔注〕

〔吉野葛・盲目物語〕

新潮文庫

5月

松崎千香子（講師）

〔講座〕

〔初級文型の導入とドリル〕

多文化共生センター・ひょうご

5月

ボランティア日本語教師ブラッシュ・アップ講座

於 東灘日本語教室

〔中級の指導の困難点と改善について〕

日本語指導ボランティア養成講座

8月

於 広島生涯学習センター

松林靖明（教授）

〔著書〕

〔保元物語 平治物語 将門記 陸奥語記〕

小学館

2月

（共著）信太周，犬井善寿他著

〔翻刻〕

〔翻刻 内閣文庫本『承久記』（坤）〕

『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』
第38号

3月

甲南女子大学

| | | |
|--|----------------------------------|------|
| 米 村 みゆき (講師) | | |
| 〔著 書〕 | | |
| 『「青鞥」という場—文学・ジェンダー・〈新しい女〉』 (共著) 飯田祐子編 | 森話社 | 4 月 |
| 〔口頭発表・講演〕 | | |
| 「宮沢賢治と日本文化」 | 文学講座 於 赤穂市立図書館 | 9 月 |
| 「賢治 DNA—ジブリ映画の隆盛」 | 日本児童文学学会 40 周年記念シンポジウム 於 明星大学 | 10 月 |

英語英米文学科

| | | |
|--|--|------|
| 青 木 次 生 (教授) | | |
| 〔講 演〕 | | |
| 「男の見た女, 女の見た女—ヘンリー・ジェイムズとイー ディス・ウォートン—」 | 甲南女子大学公開講座「男と女—英米文学を とおして—」 於 甲南女子大学 | 10 月 |

| | | |
|---------------|--|------|
| 浅 井 紀 代 (助教授) | | |
| 〔講 演〕 | | |
| 「恋愛ソネットの男と女」 | 甲南女子大学公開講座「男と女—英米文学を とおして—」 於 甲南女子大学 | 10 月 |

| | | |
|-----------------------|-----------------------------------|-----|
| 梅 原 大 輔 (助教授) | | |
| 〔論 文〕 | | |
| 「三部分意味表示における量化副詞について」 | <i>JELS</i> 19 日本英語学会 | 3 月 |
| 「英語学習者の多義語意識」 | 『甲南女子大学英文学研究』第 38 号 甲南女子大学英文学会 | 3 月 |

| | | |
|-----------------------|-----------------------------|------|
| 岡 本 紀 元 (教授) | | |
| 〔講 演〕 | | |
| 「Fitzgerald とジャズ・エイジ」 | 大学連携ひょうご講座 於 兵庫県立神戸学習プラザ | 11 月 |

| | | |
|--------------|--------------------------|-----|
| 私 市 元 宏 (教授) | | |
| 〔評 論〕 | | |
| 「メソポタミアの知恵」 | 『ハーザー』 マルコーシュパブリケーション | 6 月 |
| 「ノアの洪水」 | 『ハーザー』 マルコーシュパブリケーション | 7 月 |

| | | |
|-----------------------|----------------------------|-----|
| 「モーセの神」 | 『ハーザー』 | 8月 |
| | マルコーシュパブリケーション | |
| 「サウルとサムエル」 | 『ハーザー』 | 9月 |
| | マルコーシュパブリケーション | |
| 「ソロモンの知恵」 | 『ハーザー』 | 10月 |
| | マルコーシュパブリケーション | |
| 「イエスの先駆者たち」 | 『ハーザー』 | 11月 |
| | マルコーシュパブリケーション | |
| 「知恵の子イエス」 | 『ハーザー』 | 12月 |
| | マルコーシュパブリケーション | |
| 〔講演〕 | | |
| 「ミルトンの結婚・離婚思想と『楽園喪失』」 | 甲南女子大学公開講座「男と女－英米文学をとおして－」 | 10月 |
| | 於 甲南女子大学 | |

CANNING, Charlie (助教授)

| | | |
|---|--|----|
| 〔論文〕 | | |
| “Kamishibai English.” pp. 33–34 | <i>The Language Teacher</i> | 2月 |
| “The Temae of Stone.” pp. 37–41 | <i>Research Bulletin of Humanities and Social Sciences</i> Vol. 17 | 3月 |
| | Naruto University of Education | |
| 〔口頭発表・講演〕 | | |
| “Joseph Conrad and Eugene O’Neill: From Sail to Steam.” | Tokyo/Kyoto Conrad Group Presentation | 6月 |
| | 於 京都 | |

島 式 子 (教授)

| | | |
|--------------------------|-------------------|----|
| 〔翻訳・解説〕 | | |
| ヴァージニア・ハミルトン『ジャードゥのおはなし』 | 『甲南女子大学英文学研究』第38号 | 3月 |
| | 甲南女子大学英文学会 | |

添 田 透 (教授)

| | | |
|---------------------------------------|-----------------|-----|
| 〔口頭発表・講演〕 | | |
| 「ワーズワスの『沈黙の共感』(“silent sympathy”)と教育」 | Table Talk (卓話) | 9月 |
| | 於 宝塚武庫川 RC | |
| 〔資料作成・解題〕 | | |
| 「甲南女子大学図書館貴重書展：イギリス・ロマン派詩人ワーズワス」 | 於 甲南女子大学 | 11月 |

高 山 吉 張 (教授)

| | | |
|-------------------|-------------------|-----|
| 〔翻訳〕 | | |
| ユージン・オニール『警告』(共訳) | 『甲南女子大学英文学研究』第38号 | 3月 |
| | 甲南女子大学英文学会 | |
| 〔講演〕 | | |
| 「アメリカ演劇とミュージカル」 | 大学連携ひょうご講座 | 11月 |
| | 於 兵庫県立神戸学習プラザ | |

「舞台の裏表：アメリカ演劇と日本の芝居」 啓明女学院サタデーカレッジ 6 月
於 啓明女学院

直野 裕子 (教授)

〔著 書〕

『ギャスケル小説の旅』(共著) 朝日千尺編 鳳書房 9 月

〔口頭発表・講演〕

「母性の強調－そしてアリス・ウィルスのこと」 日本ギャスケル協会第 14 回大会シンポジウム 10 月
『『メアリー・バートン』再読』

於 大手前大学

「女性作家の見た男と女 甲南女子大学公開講座「男と女－英米文学を 10 月
－ジェイン・オースティンを中心に－」

於 甲南女子大学

POWELL, Christopher (教授)

〔論 文〕

“Some British Artists and the Industrial Revolution.” 『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』 3 月
第 38 号

甲南女子大学

林 礼子 (教授)

〔著 書〕

『プラグマティックスの展開』(共著) 勁草書房 11 月

Discourse in Search of Members (共著) David C. S. Li (ed.) University Press of America (U.S.A) 5 月

Exploring Japaneseness: On Japanese enactment of culture Ablex Publishing (U.S.A) 6 月

and consciousness (共著) Ray Donahue (ed.)

〔論 文〕

「雑誌との対話－女性雑誌のなかで構築する「私」の 『言語』 2 月号 2 月
アイデンティティ－」 大修館書店

〔ワークショップ〕

テーマ：「ディスコースが構築するジェンダーと 関西言語学会第 27 回大会 10 月
セクシュアリティ」 於 桃山学院大学

藤本 隆 康 (教授)

〔翻 訳〕

『ニューゲイト監獄歴報』(その 3) 『甲南女子大学英文学研究』第 38 号 3 月

甲南女子大学英文学会

フランス語フランス文学科

甲斐 基 文 (助教授)

〔論 文〕

「仏文法と英文法の橋わたし (2)－文法用語の齟齬 『甲南女子大学ヨーロッパ文学研究』第 25 号 3 月

(その2):分詞をめぐる一]

甲南女子大学フランス文学会

川合 Georgette (教授)

〔口頭発表・講演〕

“Le Français des Média”

第16回獨協大学フランス語教授法研究会
於 アテネ・フランセ(東京)

11月

酒 詰 治 男 (教授)

〔論 文〕

「ペレックの部屋」

『甲南女子大学ヨーロッパ文学研究』第25号
甲南女子大学フランス文学会

3月

DEVAUX, Pierre (教授)

〔著 書〕

『フランス歌曲詩集』

担当分「詩の意味から曲のイメージへ
ルナール作詞 ラヴェル作曲『博物誌』(共著)
山田兼士編

彼万社出版

4月

〔講 演〕

「フランスの子供の歌について」

於 広島エリザベト音楽大学

2月

「V. ユーゴと音楽」

京都フランス歌曲協会主催研究会

7月

於 スタジオ M

森 本 英 夫 (教授)

〔論 文〕

『『第四之書パンタグリユエル物語』に見られる食材に
ついて』『甲南女子大学ヨーロッパ文学研究』第25号
甲南女子大学フランス文学会

3月

『Le Mesnager de Paris』の献立を読む(1)』

『周辺』第23号
シメール社

12月

〔翻訳監修〕

アンドレア・ポップキンス著『中世を生きる女性たち』
浅香その他訳

原書房

5月

多文化共生学科

李 殷 娥 (講師)

〔論 文〕

「日本語と韓国語の反復形オノマトペ」

『名古屋大学国際フォーラム2002国際
シンポジウム「比較語彙研究」Ⅲ(予稿集)』
名古屋大学文学研究科

6月

〔評論・エッセイ〕

『『共に生きる』とは』

『多文化共生学科ニュースレター』No. 1
甲南女子大学多文化共生学科

3月

〔口頭発表・講演〕

- | | | |
|---------------------|--|----|
| 「韓国語教育を語る。回顧・現状・展望」 | 愛知韓国文化会シンポジウム 於 名古屋韓国学校 | 4月 |
| 「日本語と韓国語の反復形オノマトペ」 | 名古屋大学国際フォーラム2002 国際シンポジウム「比較語彙研究」Ⅲ 於 名古屋大学 | 6月 |

黒田悦子(教授)

〔著書〕

- | | | |
|---|-------|----|
| 『民族の運動と指導者たち 歴史のなかの人々』 担当分「先住民運動に参加するまでの遠い道のり ーメキシコ、オアハカ州ミヘの人々と指導者たち」 (共著)黒田悦子編著 | 山川出版社 | 4月 |
|---|-------|----|

〔論文〕

- | | | |
|--------------------------------------|--|----|
| 「国勢調査・法制度に見られる人種・民族分類 ースペイン・メキシコ」 | 『国勢調査・法制度に見られる人種・民族分類 の比較研究』 科研報告書(青柳真智子編) | 3月 |
|--------------------------------------|--|----|

〔評論・エッセイ〕

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|----|
| 「メキシコ国立人類学歴史学研究所国際シンポジウムに 参加して」 | 『多文化共生学科ニュースレター』No. 1 | 3月 |
| 「国境を越える人びとーアメリカとメキシコの相克と対話」 | 『季刊 民族学』101 千里文化財団(国立民族学博物館監修) | 7月 |

〔テキスト・辞典〕

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----|
| 「わたしが影響を受けたエスノグラフィー」 | 『エスノグラフィー・ガイドブック』 嵯峨野書院 | 1月 |
| 「名誉と恥」 | 『文化人類学最新術語100』 弘文堂 | 7月 |

坪内良博(教授)

〔論文〕

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------|----|
| 「都市フロンティアとしてのバンコク」 | 『三田学会雑誌』95-2 慶応大学経済学会 | 7月 |
| 「婚姻の文化的多様性」(事典大項目) | 『人口大事典』 日本人口学会・培風館 | 6月 |
| 「発展途上国における村落社会の人口の構造と動態」 (事典大項目) | 『人口大事典』 日本人口学会・培風館 | 6月 |

〔評論・エッセイ〕

- | | | |
|---------------|--|----|
| 「多文化共生と東南アジア」 | 『多文化共生学科ニュースレター』No. 1 甲南女子大学多文化共生学科 | 3月 |
|---------------|--|----|

野崎志帆(講師)

〔評論・エッセイ〕

- | | | |
|----------------------|--|----|
| 「『答え』のない社会を生きるということ」 | 『多文化共生学科ニュースレター』No. 1 甲南女子大学多文化共生学科 | 3月 |
|----------------------|--|----|

HATANO, Lilian Terumi (講師)

〔著 書〕

『言語文化教育学の可能性を求めて』

担当分「日本におけるマイノリティの個人名扱いについて 三省堂 7月
 ー言語文化教育を「人間教育」としてとらえる立場か
 らー」 pp. 3-17 (共著) 森住衛 (監修) 言語文化教育研
 究論集編集委員会 (編)

〔報告書〕

『多様な背景の子どもたちの名前表記の問題』 pp. 37-41 『21世紀兵庫の学校デザイン：理念・調査・ 8月
 提言ー外国人の子どもに関する教育将来構想
 検討委員会報告』

兵庫県在日外国人教育研究協議会

『外国人の子どもたちの学校への不安と不登校』 pp. 42-49 『21世紀兵庫の学校デザイン：理念・調査・ 8月
 提言ー外国人の子どもに関する教育将来構想
 検討委員会報告』

兵庫県在日外国人教育研究協議会

〔エッセイ〕

『日本における多文化共生の可能性とは』 pp. 14-19 『多文化共生学科ニュースレター』 No. 1 3月
 甲南女子大学多文化共生学科

〔講演〕

「地域の国際化って？」 同和教育講座 2月

於 矢倉小学校

「多文化を生きる：グローバリズムの功罪」 啓明女学院サタデーカレッジ 6月

於 啓明女学院

「在日外国人と日本の国際化」 西宮市生涯学習大学「宮水学園」 9月

於 西宮市立教育会館

「在日ブラジル人の現状と課題」 西宮市生涯学習大学「宮水学園」 10月

於 西宮市立教育会館

「「本名を呼び名乗る」は旧植民地出身者だけの問題か」 第9回本名キャンペーン連続セミナー 9月
 「滞日外国人と名前」

於 KCC 会館

「外国人住民の問題について考える (3)ー日系南米人ー」 地域国際化を考える研修会 10月

於 ひょうご国際プラザ

「「外国人」の子どもへの教育保証」 兵高教第13次教育研究集会 10月

於 神戸市教育会館

〔パネリスト〕

「こころの国際化」 フォーラム 2月

於 ひょうご国際プラザ

「外国から来た子の高校進学 (成功への鍵)」 第18回関西地区日本語指導者研究会 4月

於 大淀コミュニティーセンター

「ネットワークで支える外国人の教育」 「外国人教育支援全国交流会」シンポジウム 9月

私たち地域ができること、行政がすべきこと

於 地域情報センター (浜松市)

「進む日本の多文化社会化」 北淡路3町合同「わくわく多文化体験講座」 6月

第1回

於 北淡町震災記念公園

引野剛司(教授)

〔論文〕

「米国外交交渉における「謝罪」にかかわる三つの言葉 regret, sorry, apology—中国・海南島近海での米中軍用機接触事件の解決を探る米中交渉から—」 『多文化共生学科ニュースレター』 No. 1 3月
甲南女子大学多文化共生学科

〔評論・エッセイ〕

「英文ニュース解説」 『ヒヤリングマラソン』 1月～12月
アルク

〔口頭発表・講演〕

「日本語の発想, 英語の発想」 須磨の浦女子高校・甲南女子大学連携講座 10月
於 甲南女子大学

「外国語を学ぶということ」 於 京都府立嵯峨野高校 11月

森田勝昭(教授)

〔論文〕

“Japanese Whalers in Korean Waters: 1890–1910” *Mains'l Haul: A Journal of Pacific Maritime History* 5月
Maritime Museum Association of San Diego

〔評論〕

“A Japanese Whale Hunt in 1829: Selection from the *Isana-Tori Ekotoba*” (共著) *Mains'l Haul: A Journal of Pacific Maritime History* 5月
Maritime Museum Association of San Diego

「捕鯨論争を考える(上): 捕鯨と科学の問題」 『国際人流』 第176号 1月
入管協会

「捕鯨論争を考える(下): 捕鯨と文化の問題」 『国際人流』 第177号 2月
入管協会

「朝鮮半島における日本の捕鯨」 『神戸山手セミナーブック』 3 3月
神戸山手大学

「多文化共生学科の教育」 『多文化共生学科ニュースレター』 No. 1 3月
甲南女子大学多文化共生学科

「多文化共生学科の一年」 『国際人流』 第180号 5月
入管協会

〔講演〕

シンポジウム「捕鯨の伝統と文化を考える」(共同) IWC 下関会議推進協議会事務局 2月
於 銀座「ヤマハホール」

基調講演「近世から近現代へ—捕鯨技術の変化と伝統」 第1回「日本伝統捕鯨地域サミット」 3月
長門市・日本鯨類研究所主催, 水産庁・IWC
下関会議推進協議会事務局後援

「日本・日本人を探るⅢ: クジラと日本人(1)」 於 長門市・ルネッサながと・文化ホール
尼崎市立中央公民館・中央市民大学 11月

「日本・日本人を探るⅢ: クジラと日本人(2)」 於 尼崎市立中央公民館
尼崎市立中央公民館・中央市民大学 11月

| | | |
|------------------|---|-----|
| 「捕鯨から見た異文化接触と衝突」 | 秋の公民館講座：環境を考える －身近なところから 於 芦屋市公民館 | 11月 |
|------------------|---|-----|

森田浩一（助教授）

| | | |
|--------------|--|-----|
| 〔論文〕 | | |
| 「銅雀台－高台悲風多し」 | 『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』 第38号 甲南女子大学 | 3月 |
| 〔評論・エッセイ〕 | | |
| 「門外漢の記」 | 『多文化共生学科ニュースレター』No. 1 甲南女子大学多文化共生学科 | 3月 |
| 「恋の歌」 | 『甲南女子学園報』第80号 甲南女子大学 | 7月 |
| 「月餅」 | 『甲南女子学園報』第81号 甲南女子大学 | 9月 |
| 「花は然えんと欲す」 | 『甲南女子学園報』第82号 甲南女子大学 | 11月 |

共通教育

倉賀野 妙子（教授）

| | | |
|--|---|-----|
| 〔論文〕 | | |
| 「乳児はなぜ冷めたミルクを飲まないか」（共著） | 『小児保健研究』Vol. 61 日本小児保健協会 | 1月 |
| 「保育園児の低う蝕罹患率と関与する食環境因子」 | 『甲南家政』第37号 甲南女子大学家政学研究会 | 3月 |
| 「機能性糖質甘味料の低水分系焼き菓子における膨化と食感発現への関与」（共著） | 『日本調理科学会誌』Vol. 35 日本調理科学会 | 9月 |
| 「ダイエットビスケットの開発」（共著） | 『食に関する助成研究調査報告書』No. 15 すかいらーくフードサイエンス研究所 | 10月 |
| 〔評論〕 | | |
| 「食教育のひろがり－大学全学部共通科目での試み－」 | 『家庭科教育』76巻2号 家政教育社 | 2月 |
| 〔口頭発表・講演〕 | | |
| 「健康教育（禁煙）」（共同） | 日本家政学会第54回大会 於 昭和女子大学 | 6月 |

佐藤毅彦（助教授）

| | | |
|---|---------------------------------------|----|
| 〔論文〕 | | |
| 「日本の女性ミステリ作家と図書館 加納朋子・若竹七海のケースについて 図書館はどうみられてきたか・3」 | 『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』 第38号 甲南女子大学 | 3月 |

「困難な条件のもとで図書館を発展させるために」(共著) 『図書館界』 Vol. 54 No. 2 7 月

〔評論・エッセイ〕

「ファカルティディベロップメント 資格付与とカリキュラム 卒業単位に組み込む際の問題点」 『日本図書館協会 図書館学教育部会 会報』 7 月
第 63 号
図書館学教育部会

〔口頭発表・講演〕

「図書館と司書養成に関わる最近の動向について」 兵庫県学校図書館東播磨地区高校支部図書 11 月
部長(主任)司書(図書担当者)合同研修会
於 甲南女子大学

洲 脇 光 一 (教授)

〔演奏指揮〕

混声合唱組曲『光る砂漠』萩原英彦作曲 於 伊丹アイフォニックホール 5 月
Ave Maria by Siegfried Strohbach 於 いたみホール 6 月
Oratorio *Elijah* by Felix Mendelssohn 於 芦原講堂 10 月
Dancing Day by John Rutter 於 日本キリスト改革派芦屋教会 12 月